

I 教育理念

21世紀、福祉の時代を迎えて、益々高まる保健・医療・福祉の総合化や在宅医療・介護の充実が迫られる中、あらゆる場での介護が介護福祉士を中核としてなされるようになって行くための環境作りを推進することが必要である。

また、少子化社会の中、社会環境や子育て環境などが変化し、子育てが容易なものでなくなってきている今、子どもの健全な育ちを支える保育士への期待が益々高まってきている。一方、女性の働き方の変化などによる待機児童の増加等が問題となっており、その対応策として保育士の確保が急務となっている。

さらに、グローバル化する現代、我が国及び世界に貢献できる人材の育成も急務となっている。

このような課題に応じて、特色あるカリキュラムを設定し、介護福祉士養成では「保健」・「医療」・「福祉」を、保育士養成では「創造」・「養護と教育」・「福祉」を三位一体とする総合的能力と人間尊重の精神を兼ね備えた人材の育成・確保を、日本語教育ではグローバル化時代にも貢献できる人材の育成・確保を図り、福祉社会のニーズに十分応えることを学校の理念とする。

II 3つのポリシー

1. ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- 1) それぞれの分野で生かせる実践的な知識と技術を有し現場で活用することができる
- 2) 問題解決の為に主体的に取り組み、自ら考え判断し、それを表現することができる
- 3) マネジメント能力と、良好な連携・協力関係を作り上げ専門性を生かす力を身につけている
- 4) 自己の社会的使命を認識し、地域社会・国際社会に貢献しようとする意欲をもっている
- 5) 人間尊重の精神と倫理性をもち多様な人々への適切な配慮ができる

2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシーで定めた目標を達成するために、次のような教育課程編成方針・実施方針、学修成果の評価基準に基づいて教育を行う。

【編成方針】

各学科において、養成施設として定められた規則に従った教育課程を基本として、現場で必要とされる実践的・専門的能力の獲得を重視した教育課程を編成する。加えて、社会人・職業人として必要な能力や態度を養うための科目を配置する。

【実施方針】

各授業は、①授業の目的・ねらい、②授業の内容、③達成課題（到達目標）、④授業計画、⑤事前・事後学習の内容、⑥教科書、⑦成績評価の方法等を記載した授業概要（シラバス）に従って実施する。

【学修成果の評価基準】

各授業科目において、授業概要に記載された成績評価の方法に従い評価する。

成績は、A・B・C・Dの評価をもって表し、A・B・Cを合格とする。

<介護福祉学科>

- 1) 介護実践の根拠を理解した上で、介護過程の展開および生活支援技術の実践ができるよう科目を配置する。
- 2) 自らの課題を認識し主体的に学ぶことができるよう、「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」等の各領域で演習および実習を行う。
- 3) 実習生同士および実習施設とも連携し、より実践的な介護過程の理解・生活支援技術の実践を目指す。
- 4) 社会に必要とされる職種であると認識し、自ら地域貢献する力を育成する。
- 5) カリキュラム全体を通じて、対人援助職として必要な倫理観・社会性を育てる。

<こども保育学科>

- 1) 資格取得のためのカリキュラム編成を基本とし、実際の体験、保育現場での演習、校外学習、実務者の講義等、多様な学習方法を取り入れる。
- 2) 創造力、発想力、表現力、豊かな感性および保育の構想力を磨くためのグループワーク、模擬保育、保育発表等を行い、保育者としての実践力と積極的に自己発揮できる力を養う。
- 3) コミュニケーション能力、リーダーシップ、協働性を高めるための演習内容及び学生間のコミュニケーションを図るための演習等を行う。
- 4) 保育者として“子どものモデルとなる”との認識をもち、自己研鑽する意識教育を行う。
- 5) カリキュラム全体を通じて、専門職としての人間性を高める教育を行う。

<日本学科>

- 1) 言語活動（「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能）と、言語知識（「語彙」「文法」）をバランスよく修得するための科目を配置する。
- 2) 日々の学習や校外学習などを通して、主体性、実行力、問題解決能力などを育成する。
- 3) 異文化への理解を深め、グローバルな視点で物事を考えられるよう、教員や学生との交流の機会や、様々な異文化が体験できる機会を設ける。

3. 本校のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本校では、教育理念に基づいた以下のような入学者を求める。

- 1) 福祉・保育の業界に貢献するという夢や目標のある者
- 2) 専門職に求められる専門性と実践力を身につけようとする熱意と意欲がある者
- 3) 積極的に資格取得に挑戦するという前向きな姿勢を持つ者
- 4) 他人を思いやる心や人の役に立ちたいという気持ちが強い者

以上